

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 4 月 30 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ 0082
排出削減事業者名	株式会社 白生舎
排出削減共同実施事業者名	三菱商事株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	株式会社 白生舎 (住所：北海道千歳市北信濃 7 7 6 - 1 1)
事業の概要	A 重油ボイラ 4 台を都市ガスボイラへバーナー交換する。ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度 57 tCO ₂ 、2009 年度以降 345tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1437 tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始予定日 2009 年 2 月 13 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論 001 「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 2 月 13 日～2010 年 3 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	529tCO ₂ (2009 年 2 月 13 日～2010 年 3 月 31 日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
<p>排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること</p>	<p>1) 開始日の確認 承認排出削減事業計画通り、開始日は、2009年2月13日であることを事業者への質問及び証拠書類（プロジェクト遂行経緯書、都市ガス使用量実績等）により確認した。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 本実績報告期間においてエネルギー使用実績に基づく請求書（都市ガス使用量実績）の確認や現場責任者への質問、現場の目視により、導入設備が稼働していることを確認した。</p>
<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>1) モニタリング方法の確認 現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、現場の都市ガスメーターによる測定記録の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。</p> <p>2) 活動量の正確性 現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、ガス供給会社の請求書の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、都市ガス使用量は、ガス供給会社の請求書を取りまとめた集計記録、その他の計測値の記録・保存が適切になされていること、また、本データがエクセルを利用し、自動的に正確に集計されていることを、データ集計表、算定書などにより確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論(別表)に従っていることを確認した。また、ボイラ効率はボイラ保守点検メーカーの算定報告書（4回）で算定方法及び算定結果に誤りがないことを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p>

	事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量算定方法は、承認排出削減事業計画に従っており、排出削減量の算定方法及び算定結果に誤りがないことを確認している。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2009 年 2 月 13 日から 2010 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

本実績報告期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点はない。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 24kl であることを確認した。

以上